



CHAPTER 6

NAM 仮想サービス ブレードのバックアップ

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco NAM 仮想サービス ブレードのバックアップ」 (P.6-1)
- 「WAAS ソフトウェアのアップグレード」 (P.6-2)
- 「ヘルパー ユーティリティ メニューのオプション」 (P.6-3)
- 「WAAS アプライアンス設定の復元」 (P.6-6)

Cisco NAM 仮想サービス ブレードのバックアップ

WAAS デバイスを交換する必要がある場合、交換したデバイスに NAM 設定を復元できるように、仮想サービス ブレードをバックアップすることを推奨します。

VSB のバックアップ イメージを作成するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** VSB を停止する前に、NAM をシャットダウンします。
- ステップ 2** 次の手順で VSB を停止します。
- WAAS Central Manager の GUI ナビゲーション ペインで、[My WAN] > [Manage Devices] を選択します。
 - VSB を含むデバイスの横にある [Edit] アイコンをクリックします。
 - ナビゲーション ペインで、[Admin] > [Virtualization] > [Actions] を選択します。
 - [Stop Virtual Blade] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** WAAS デバイスのコマンドライン インターフェイスにログインします。
- ステップ 4** 次のように、**copy ftp** コマンドを使用して、FTP サーバに VSB イメージをコピーします。

```
copy virtual-blade 1 disk 1 ftp ftp_server_ip ftp_server_directory filename
```

たとえば、VSB イメージを、FTP サーバ (10.0.2.4) の WAAS ディレクトリにある **vb1.img** ファイルにコピーするには、次のコマンドを使用します。

```
copy virtual-blade 1 disk 1 ftp 10.0.2.4
```

FTP サーバから WAAS デバイスに VSB イメージを復元するには、**copy ftp** コマンドを再度使用します。

```
copy ftp virtual-blade 1 disk 1 ftp_server_ip ftp_server_directory filename
```

たとえば、VSB イメージを、FTP サーバ (10.0.2.4) の WAAS ディレクトリにある **vb1.img** ファイルから WAAS デバイスにコピーするには、次のコマンドを使用します。

```
copy ftp virtual-blade 1 disk 1 10.0.2.4 WAAS VB1.img
```

WAAS ソフトウェアのアップグレード

すべての WAAS ソフトウェアをアップグレードする必要がある場合は、次の手順を実行します。

- ステップ 1 ISO イメージを Cisco.com からダウンロードしてコピーするか、ネットワーク上に配置します。
- ステップ 2 NAM CLI で「**reboot-helper**」と入力します。ヘルパー ユーティリティ メニューが表示されます (図 6-1 を参照)。

図 6-1 ヘルパー ユーティリティ メニュー

```
=====
Cisco Systems, Inc.
Network Analysis Module (NAM2200) helper utility
Version 1.1(0.5-Eng)

-----
Main menu
1 - Download application image and write to HDD
2 - Download application image and reformat HDD
3 - Install application image from CD
4 - Display software versions
5 - Reset application image CLI passwords to default
6 - Change file transfer method (currently ftp/http)
7 - Send Ping
n - Configure network
r - Exit and reset Services Engine
h - Exit and shut down Services Engine
Selection [1234567dnfrh]:
```



- (注) 4.x から 5.x にアップグレードするには、オプション 2 - [Download application image and reformat HDD] を使用します。

オプションの詳細については、次の項のヘルパー ユーティリティ メニューのオプションを参照してください。

ヘルパー ユーティリティ メニューのオプション

ここでは、「ヘルパー ユーティリティ メニュー」の各オプションの機能、特定のオプションを使用するための要件などについて説明します。



(注)

メニュー項目 1 および 2 を使用する前に、まずメニュー項目 n を使用して、アプライアンスのネットワーク パラメータを設定する必要があります。

ヘルパー ユーティリティ メニューの最上位レベルの可能な選択肢は、1、2、3、4、5、6、7 d、n、f、r、および h です。

オプション n：ネットワークの設定

オプション n を使用して、アプライアンスのネットワーク パラメータを設定します。

ステップ 1 [Configure Network Interface] メニューが表示されたら、2 を入力して手動で設定します。

```
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu
```

Selection [123r]: 2

ステップ 2 アプライアンスの IP アドレス、ネットマスク、デフォルト ゲートウェイの入力を求めるプロンプトが表示されます。

```
Enter IP configuration:
IP address []: 172.20.122.93
netmask []: 255.255.255.128
default gateway []: 172.20.122.1
```

```
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu
```

Selection [123r]

ステップ 3 [Configure Network] メニューのオプション 3 を使用してネットワーク設定を確認します。

Selection [123r]: 3

```
eth0      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0E:0C:EE:50:3E
          inet addr:172.20.122.93  Bcast:172.20.122.127  Mask:255.255.255.128
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
          RX packets:210 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:1000
          RX bytes:13632 (13.3 KiB)  TX bytes:0 (0.0 b)
```

```
Kernel IP routing table
Destination      Gateway         Genmask         Flags Metric Ref    Use Iface
172.20.122.0     0.0.0.0        255.255.255.128 U           0      0    eth0
```

```

0.0.0.0          172.20.122.1    0.0.0.0        UG    0        0 eth0
-----
Configure Network interface:
1 - Use application image configuration
2 - Configure manually
3 - Show config
r - return to main menu

Selection [123r]:

```

オプション 1 : アプリケーション イメージのダウンロードと HDD への書き込み

オプション 1 を使用する前に、オプション n を使用してネットワークを設定します。

オプション 1 を使用して、FTP サーバから NAM アプリケーション イメージのバージョンをダウンロードして、ハードディスク ドライブにイメージを書き込みます。このオプションを使用するには、ネットワーク接続があり、[Helper] メニュー項目 n を使用して、Cisco NAM 仮想ブレードのネットワーク パラメータが設定されている必要があります。

このオプションを使用して、FTP の場所、または **http** を使用してアクセスできる場所に保存しているイメージをダウンロードできます。NAM ソフトウェアの最新バージョンは次の URL からダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/nam-appl>

この URL を使用するには、シスコ サービス契約および圧縮されたソフトウェアをダウンロードするためのインターネット アクセスが必要です。

オプション 2 : アプリケーション イメージのダウンロードと HDD の再フォーマット

オプション 2 を使用する前に、オプション n を使用してネットワークを設定します。

オプション 2 を使用して、NAM アプリケーション イメージをダウンロードし、ハードディスク ドライブにイメージを書き込みます。このオプションを使用して、FTP サーバの場所、または **http** を使用してアクセスできる場所から NAM アプリケーション イメージのバージョンをダウンロードします。

このオプションを使用すると、アプリケーション イメージを書き込む前にハードディスク ドライブが再フォーマットされるので、レポートやデータ キャプチャなどのすべてのデータが破棄されます。

Cisco.com から最新バージョンをダウンロードできます。

オプション 4 : ソフトウェア バージョンの表示

オプション 4 を使用して、ハードディスクに保存されている現在の NAM アプリケーション イメージのバージョンを表示します。

```

Selection [123456789dnfrh]:4
-----
NAM application version: 5.1(1)

Selection [123456789dnfrh]:

```

オプション 5 : アプリケーション イメージ CLI パスワードのデフォルトへのリセット

オプション 5 を使用して、**root** および **admin** ユーザのパスワードをそれぞれのデフォルト値にリセットします。

オプション 6 : ファイル転送方式の変更

オプション 6 を使用して、ファイル転送方式を変更します。このオプションは、ファイル転送方式を誤って変更した場合にのみ必要です。**FTP** および **http** のみサポートされています。

```
Selection [123456789dnfrh]: 6
-----
Change file transfer method menu
The current file transfer method is ftp/http.
1 - Change to FTP/HTTP
r - return to main menu
```

オプション 7 : ping の送信

オプション 7 を使用して、**ping** を送信して、ネットワーク接続があるかどうかを確認します。プロンプトが表示されたら、**ping** を送信する場所の IP アドレスまたは完全なドメイン名を入力します。

```
IP address to ping []: 172.20.122.91

Sending 5 ICPM ECHO_REQUEST packets to 172.20.122.91.
PING 172.20.122.91 (172.20.122.91) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.151 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=2 ttl=64 time=0.153 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=3 ttl=64 time=0.125 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=4 ttl=64 time=0.102 ms
64 bytes from 172.20.122.91: icmp_seq=5 ttl=64 time=0.166 ms

--- 172.20.122.91 ping statistics ---
5 packets transmitted, 5 received, 0% packet loss, time 4000ms
rtt min/avg/max/mdev = 0.102/0.139/0.166/0.025 ms
```

オプション r : サービス エンジンの終了とリセット

オプション **r** を使用して、新しくインストールした NAM アプリケーション イメージをリポートする前に **WAAS** アプライアンスをリセットします。

オプション **r** を使用する前に、**CD** ドライブからリカバリ **CD** を取り出し、**WAAS** アプライアンスがアプリケーション イメージをブートできるようにします。

オプション h : サービス エンジンの終了とシャットダウン

オプション **h** を使用して、**WAAS** アプライアンスをリセットしてシャットダウンします。

```
-----
Option h for recovery CD
Selection [123456789dnfrh]: h
About to exit and reset NAM.
Are you sure? [y/n] :y
Stopping internet superserver: inetd.
Stopping OpenBSD Secure Shell server: sshd.
```

```

Stopping internet superserver: xinetd.
Stopping internet superserver: xinetd-ipv4.
: done.
Shutting down NAM (NAM2200), part 1:
Stopping klogd . . .
Stopping syslogd . . .
Sending all processes the TERM signal... done.
Sending all processes the KILL signal... done.
Unmounting remote filesystems... done.
Deactivating swap...done.
Unmounting local filesystems...done.
Starting halt command: halt
md: stopping all md devices.
Synchronizing SCSI cache for disk sdb:
FAILED
  status = 1, message = 00, host = 0, driver = 08
  <6>sd: Current: sense key=0x5
  ASC=0x20 ASCQ=0x0
Synchronizing SCSI cache for disk sda:
FAILED
  status = 1, message = 00, host = 0, driver = 08
  <6>sd: Current: sense key=0x5
  ASC=0x20 ASCQ=0x0
ACPI: PCI interrupt for device 0000:07:00.1 disabled
ACPI: PCI interrupt for device 0000:07:00.0 disabled
Power down.
acpi_power_off called
-----

```

WAAS アプライアンス設定の復元

FTP または HTTP を使用してアクセスできるリモート サーバの場所に NAM 設定ファイルを保存している場合、システム リカバリ後に NAM 設定ファイルを復元できます。「Cisco NAM 仮想サービス ブレードのバックアップ」(P.6-1) を参照してください。